

1 アカデミー委員会

2 委員長方針

3 段 厚美

4 委員会日：毎月15日前後

5 =委員会メンバー=

6 副委員長：小倉 大地

7 委 員：大竹 渉、佐々木 淳二、深見 賢哉

8
9 本年度、アカデミー委員会では、委員会を学び舎と位置づけ、先ずは、新会員の特性や
10 個性を理解し、一人ひとりに合わせた人財育成と、より良い人間関係を構築する仕組みを
11 作り、仲間との絆を深めることで、自己の成長に繋げていただきたいと思います。そのた
12 めには、アカデミー委員会の新会員の皆様に先ずは、JC運動・活動の意義や基礎知識、
13 JAYCEEとしての心構えを対内外の事業を通して学べるよう育成してまいります。そ
14 して、一つひとつの事柄に目標をたて、自分なら何ができるのかをしっかりと考え行動し、
15 目標を達成していくことで、「自ら学び」「自身で考え」「率先して行動」できる人財とな
16 り、このまちを担うリーダーへと成長すると考えます。

17
18 アカデミー委員会の事業として、献血の推進があります。今後、献血可能人口が減ると
19 予想されている中で、将来の献血の基盤となる若年層の献血者を増やしていく必要があり
20 ます。まずは、我々が改めて献血の必要性や重要性を学び、献血への協力意識の少ない1
21 7歳から20歳までの方々に献血の必要性を知っていただくことが必要です。そうするこ
22 とで、若者に当事者意識をもっていただき、献血の重要性を自発的に発信できる人財が溢
23 れ、若者が若者へ繋ぐ献血に変化していくと考えます。

24
25 本年度のアカデミー委員会のテーマは「仲間」です。楽しい時は、おもいっきり楽しみ
26 つまずいた時や困った時は、手を差し伸べ支え合い、信頼関係を構築し共にお互いを高め
27 合える関係性を築いていただきたいと思います。私は、委員長として一人ひとりと真剣に向き合い、
28 個の成長が組織の成長に繋がることを一番に考え行動してまいります。アカデミー委員会
29 のメンバーには、ただ直向きにこのまちのため、誰かのため、そして仲間のために考え取
30 り組んでいただきたいと思います。40歳までの限りある時間の中で、同じメンバーでアカデミー委
31 員会であるのも一度限りです。生涯の友を作り、自身を磨くためにも1年間共に切磋琢磨
32 し、楽しんでまいりましょう。

33
34 <事業計画>

35 ・献血の推進

<事業予算>

・15,000円